SONY

4-092-246-**03** (2)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告　安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ
プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

この壁掛けユニットは指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。

指定機器：フラットパネルデジタルテレビ
（KDE-P42HX1/KDE-P50HX1）

SU-PW1

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

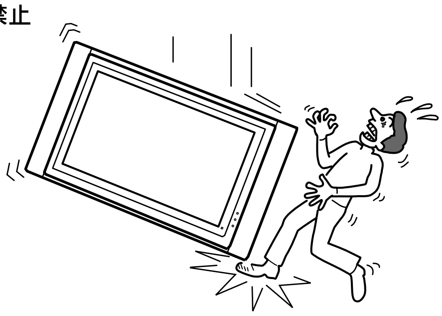
注意を促す記号		行為を禁止する記号
火災	感電	禁止

お客様へ

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂により死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する
また取り付けのときは幼児を遠ざける


禁止

専門業者以外の人が取り付けを行うと、以下のようなことがおこります。

- 地震などがおきたときに、ディスプレイの落下による打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面でなかったり垂直でない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁の強度は、少なくともディスプレイの4倍は必要です。（KDE-P50HX1のとき：53kg × 4 = 212kg、KDE-P42HX1のとき：39kg × 4＝156kg）
- 壁との取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

ディスプレイの移動や取り外しは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取り外しを行うと、ディスプレイが落下し、けがや破損の原因になることがあります。また、移動や取り外しは、必ず２人以上で行ってください。

テレビに水などの液体をかけない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

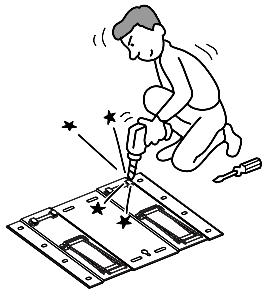
テレビを取り付けた後はボルトなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。

禁止



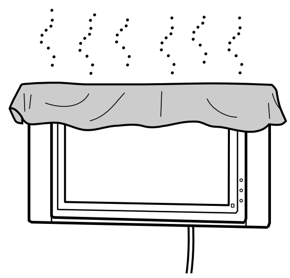
指定機器以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイを設置したとき、布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

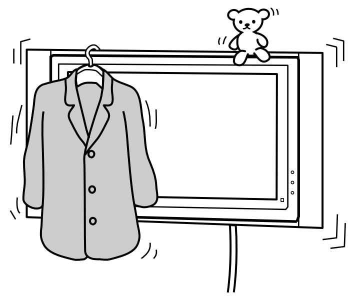
禁止



ディスプレイ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

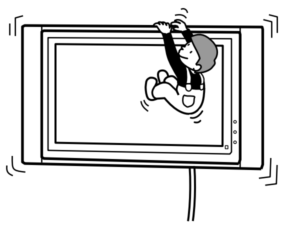
禁止



ディスプレイに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

ディスプレイがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。

禁止



火災や感電を防止するために、テレビを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

火のついたロウソクなどの燃えやすい物の近くに置かない

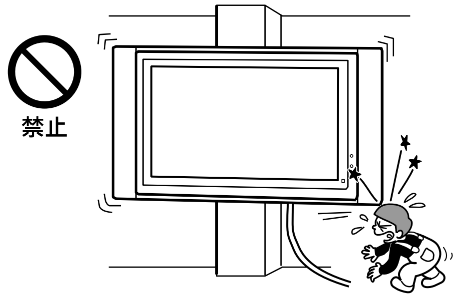
火災を防止するために、テレビから離れた所に置いてください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスプレイユニットがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱など壁掛けユニットがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。



掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、ディスプレイの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風など直接、風が当たりつづけると故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにディスプレイを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、ディスプレイの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
  壁掛けユニットを設置し、後日取り外した場合、壁にネジ穴が残ります。
- 壁の中に300Ωフィーダー配線をすでに使っている場合は、壁の中の300Ωフィーダー配線を75Ω同軸配線に変更することをおすすめします。
  やむを得ず300Ωフィーダー線を使用する場合は、設置工事を始める前に、ディスプレイと壁の中にあるフィーダー線との距離を充分に確保できているか確認してください。
  また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方とご確認のうえ、工事を始めてください。

壁掛けユニットを取り付ける

販売店様・特約店様用

⚠警告　お客様へ

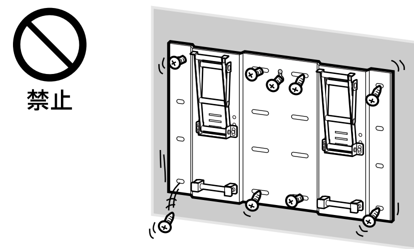
本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

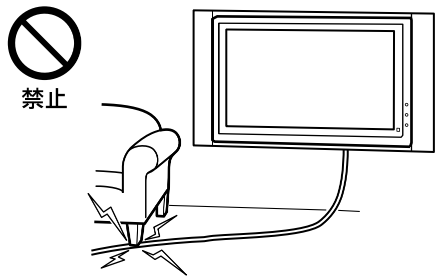
取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下し、けがや破損の原因となります。壁の材質にあったネジ（M8相当8本以上）で、しっかり固定してください。



電源コードおよびディスプレイケーブルを挟まないようにする

電源コードおよびディスプレイケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。



付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書どおりの使用方法を守ってください。取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや、破損の原因となることがあります。

組み立ては、手順に従って正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ボルトおよびネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落ちたりしてけがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける
垂直でなかったり、平らでない壁面に取り付けると、テレビが落ちてけがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する
人や物がケーブルに引っ掛かると、けがの原因となります。

取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する
壁掛けユニットやディスプレイを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません
壁の材質や構造に適合したネジを使用してください。

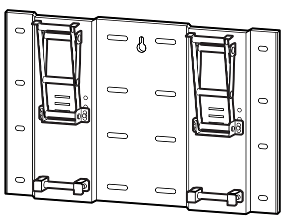
手順 1：取り付けに必要な部品を確認する

1 **取り付ける壁の材質に合わせてM8相当8本以上のネジ（付属品ではありません）とドライバーを用意する。**

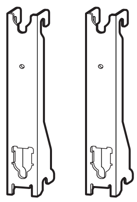
2 **梱包を開いて、付属品を確認する。**



ネジ（＋PSW5×12）（2）



プレートユニット（1）



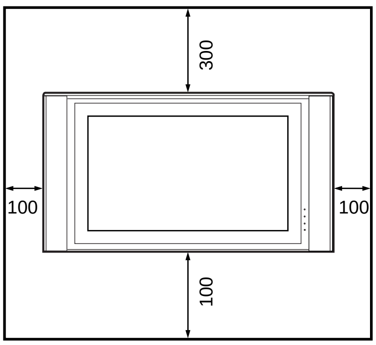
マウンティングフックユニット（2）

手順 2：取り付け位置を決める

1 **天井や壁の凸部から以下の距離以上離してください。**

ちょっと一言
取り付けたときの断面寸法図は、「主な仕様」
（☞11ページ）をご覧ください。

単位：mm

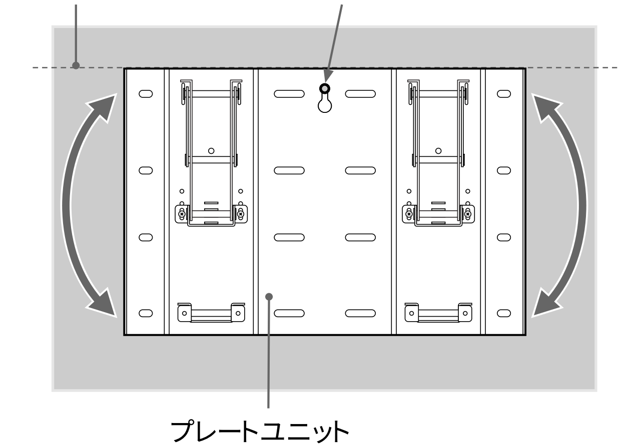


手順3：プレートユニットを壁に取り付ける

1 プレートユニットをネジで仮留めし、水平になるように調整する。

⚠警告

- 壁掛けユニットと壁面を固定するネジは付属しません。
- 壁に取り付ける際のネジは、必ず、壁の材質や構造に適したネジを使用してください。



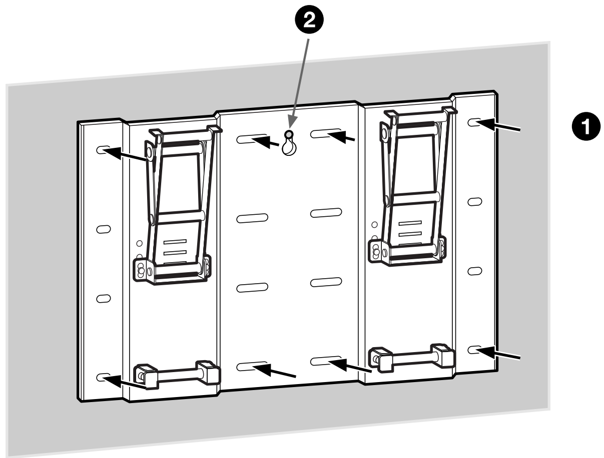
2 プレートユニットをM8相当8本以上のネジ（付属品ではありません）で固定する。

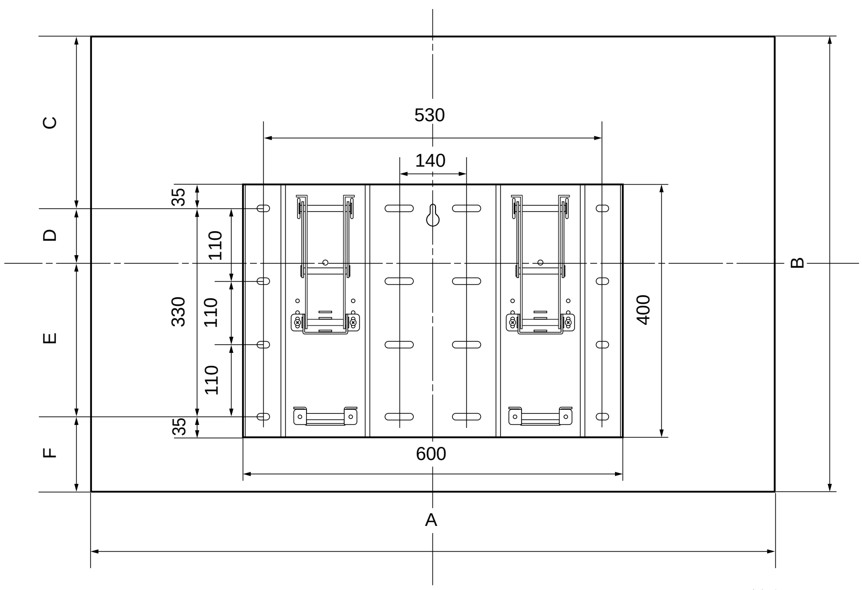
❶強度を確保するため、ゆるみがないようにしっかりとネジを固定する。

❷1で仮留めしたネジをしっかりと固定する。

⚠警告

- 右図の指定位置にネジ留めしてください。強度不足のときはネジを追加してください。
- プレートユニットが確実に壁に取り付けられていることを確認してください。





KDE-P50HX1のとき 単位：mm

A	B	C	D	E	F
1573	856	342	86	244	184

KDE-P42HX1のとき 単位：mm

A	B	C	D	E	F
1352	720	208	152	178	182

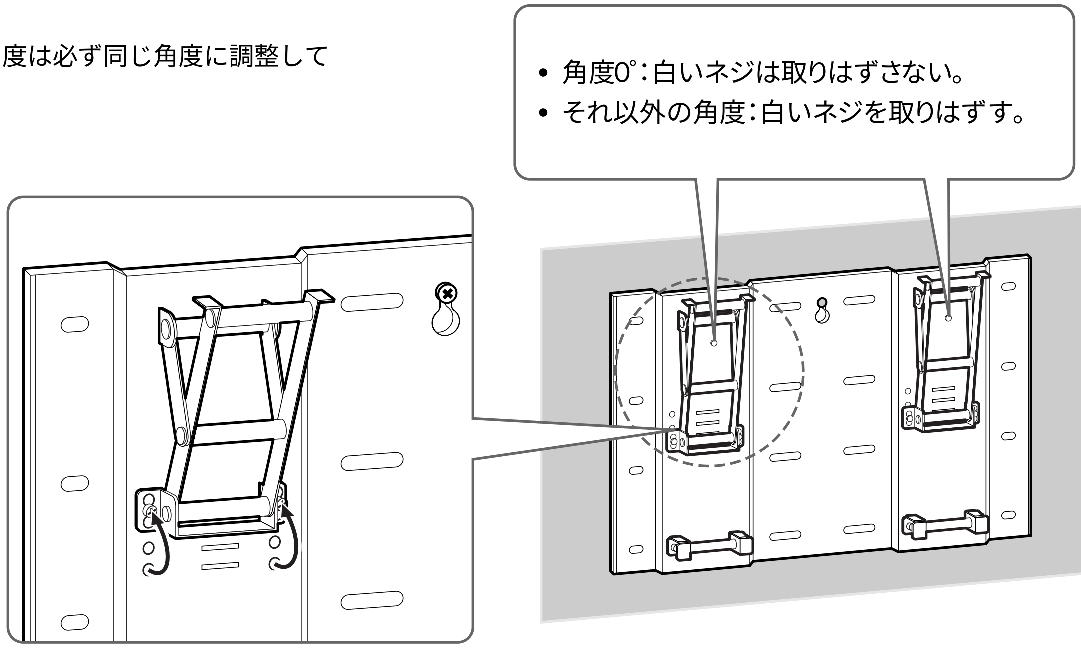
3 **角度を調整する。**

❶左右のアーム軸受けのネジをはずして、変えたい角度のきりかきにアーム軸受けを付け替える（0 °、5 °、10 °、15 °、20 °）。

❷**1**ではずしたネジでアーム軸受けをしっかりと固定する。

ご注意

左右のアーム軸受けの角度は必ず同じ角度に調整してください。

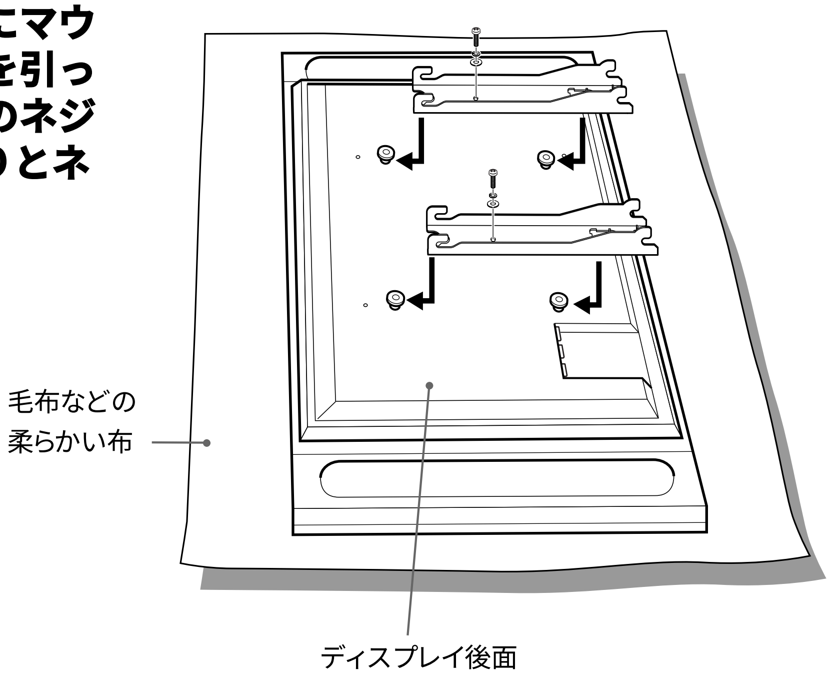


手順 4：ディスプレイを取り付ける

⚠警告

すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。
また、電源コードやディスプレイに引っかけると、転んだり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

1 **ディスプレイ後面のフックにマウンティングフックユニットを引っ掛けてスライドさせ、付属のネジ（＋PSW5×12）でしっかりとネジ留めする。**

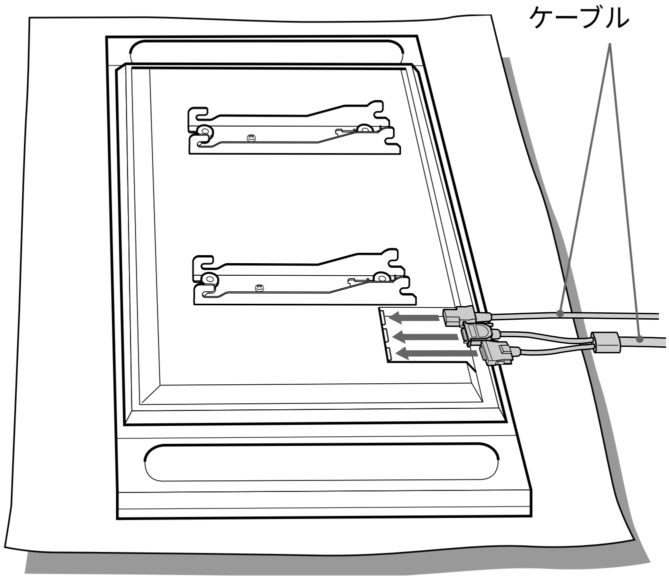


2 ディスプレイに付属の電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

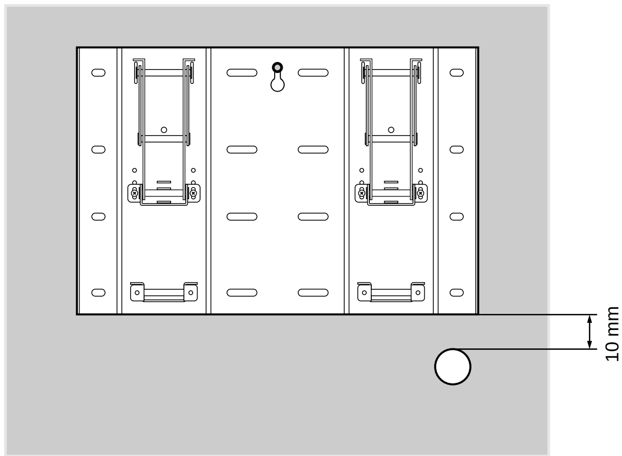
ディスプレイの後面に電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

ちょっと一言

電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、フラットパネルデジタルテレビ（KDE-P42HX1/KDE-P50HX1）の取扱説明書をご覧ください。



電源コードおよびディスプレイケーブルは、壁などに固定してください。壁の中にコード類を配線するときは、図の位置に50 φの穴をあけてください。



3 ディスプレイをプレートユニットに取付ける。

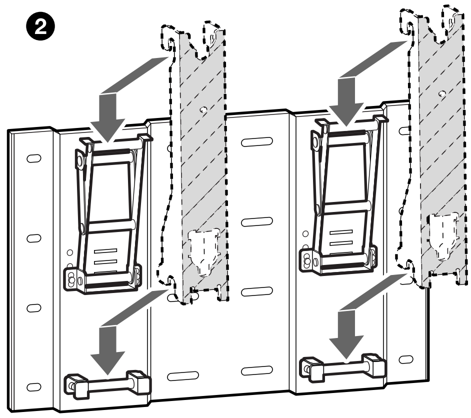
❶ マウンティングフックユニットの下のフックをプレートユニット下部の軸上に乗せる見当で、ディスプレイを壁面に寄せる。

❷ 左右2つのマウンティングフックユニットの上、下のフックを同時に引っ掛ける。

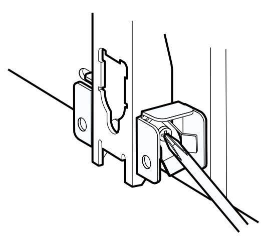
❸ 8か所のフックが確実に引っ掛かっていることを確認する。

❹ 左右の抜け止めネジを長いドライバーを使ってしっかりとしめる。

❷



❹

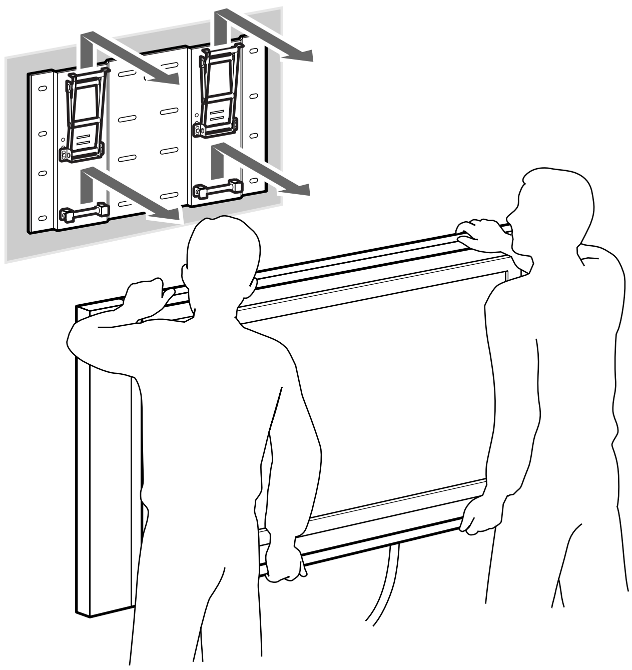


ディスプレイを取りはずすには　販売店様・特約店様用

1 **コンセントから電源コードをはずす。**

2 **左右の抜け止めネジをとまるところまでゆるめる。**

3 **ディスプレイを2人以上で持ち、上に持ち上げて取りはずす。**



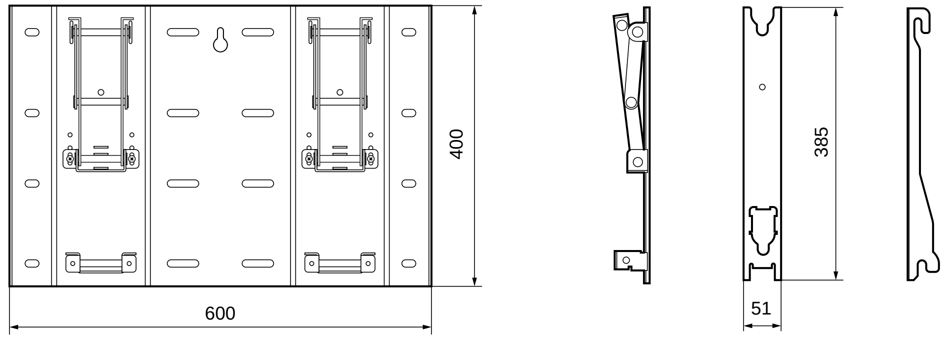
⚠警告

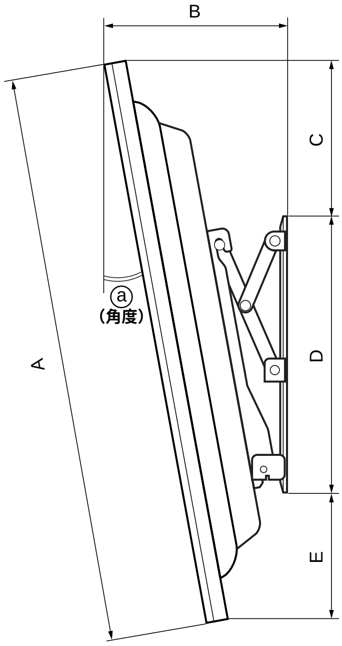
- ディスプレイは、必ず2人以上で持って移動させてください。
- ディスプレイを取りはずすとき、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- ディスプレイを取りはずすとき、手や指を傷つけないようにご注意ください。

主な仕様

単位：mm
質量：8.0 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。





KDE-P42HX1のとき　単位：mm

角度	寸法				
ⓐ	A	B	C	D	E
0 °	720	160	173	400	147
5 °	720	207	162	400	156
10 °	720	253	148	400	164
15 °	720	297	130	400	172
20 °	720	339	108	400	178

KDE-P50HX1のとき　単位：mm

角度	寸法				
ⓐ	A	B	C	D	E
0 °	856	166	307	400	149
5 °	856	225	296	400	160
10 °	856	283	280	400	169
15 °	856	338	260	400	177
20 °	856	391	235	400	183

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan